



LUNCHTIME CONCERT

ランチタイムコンサート Vol.139

MAY. 2026

〈1909年製ベーゼンドルファーの息吹Ⅲ〉
ベーゼンドルファーModel 250、スタインウェイD それぞれの魅力

橘高昌男 津野絢音

(ピアノ)



Ayane Tsuno



Masao Kitsutaka

Program

ベートーヴェン：
ピアノ・ソナタ第7番 ニ長調 Op.10-3
[津野絢音：スタインウェイD]

リスト：《巡礼の年 第1年 スイス》より
〈ワレンシュタットの湖で〉
〈泉のほとりで〉

シューベルト：4つの即興曲 D935
[橘高昌男：ベーゼンドルファーModel 250]

5/2 2026 (土)

TOPPANホール

開演 12:15 開 場 11:45
終演予定 13:30

【発売】

3月9日(月)[会員：3月2日(月)]

【全席指定】1,500円

TOPPANホールクラブ ゴールド会員 2枚無料
レギュラー会員 1枚無料

*無料チケットは電話受付のみ。有料チケットの同時購入可。

*通常チケットのWEB購入は一般発売後からとなります。

【お申し込み】

TOPPANホールチケットセンター 03-5840-2222

10:00~18:00 土日祝休

TOPPANホールWEBチケット www.toppanhall.com

*ご利用には登録が必要です。

TOPPANホール 〒112-0005 東京都文京区水道1-3-3

〈1909年製ベーゼンドルファーの息吹〉の第3回。今回はホールが長らく所有するスタインウェイDとの比較をお楽しみいただきたい。ピアニストは自分の楽器を奏するヴァイオリニストなどとは異なり、基本的にホールが所有するピアノとその場で向き合って音楽を創造する宿命を負っている。そこには毎回大きな障壁と時に望外の出会いの喜びが横たわる。だとするならば、ホールにあるピアノがそれぞれどんな個性を持っているのか、比較しながらお客さまにも知ってもらおうというのが今回の趣旨。こんな挑戦に賛同してくれたのが、長らくフランスに留学しながらもドイツ音楽への深い造詣と真摯な音楽への取り組みが評価される橘高昌男と、いま勢いに乗る若手、津野絢音。

フレッシュな音楽性が際立つ津野には、ベートーヴェン初期の瑞々しさと彼特有の深さを併せ持つピアノ・ソナタ第7番に挑んでももらい、橘高には、このベーゼンドルファーと抜群の相性を誇るシューベルト作品から、敢えてソナタ形式から離れD935の即興曲を弾いてもらうことにした。澁澁としたベートーヴェンとロマンティックなシューベルトを繋ぐ橋渡しとして橘高が提案したリストが加わり、とても美しい流れが生まれたように感じている。TOPPANホールと2人のピアニストの挑戦、ぜひお聴きいただきたい。

【交通のご案内】

江戸川橋駅 地下鉄有楽町線(4番出口)より徒歩約8分

飯田橋駅 JR総武線(東口)、地下鉄有楽町線、東西線、南北線、大江戸線(B1出口)より徒歩約13分

後楽園駅 地下鉄丸ノ内線、南北線(1番出口)より徒歩約10分

都営バス [上69][飯64][大曲]または「東五軒町」下車徒歩約3分

※地下駐車場をご利用いただけます。(ホールご来場者割引あり)

※やむをえず、曲目などに変更がある場合がございます。あらかじめご了承ください。

※未就学児のご入場はお断りいたします。

同日開催連携イベント 印刷博物館企画展「名著誕生 ヴァチカン教皇庁図書館展Ⅲ+」 トークショー「ベートーヴェンの愛した哲学」開催!

講師：大橋容一郎(上智大学名誉教授)

コンサートで演奏されるベートーヴェンのピアノ・ソナタ第7番の楽譜(一部)が展示されている印刷博物館で、

5月2日(土) 14時~15時30分

ベートーヴェンが愛した哲学の世界をめぐるトークイベントを開催します。

場所：印刷博物館 定員：70名(事前予約制)

詳細は、印刷博物館、TOPPANホールのWEBサイトでも後日ご案内いたします。